様式第10（第17条、第78条、第126条及び第144条関係）（平29経産令15・追加）

熱量測定記録表

<table>
<tr><td colspan="3">試　料
ガ　ス　　測定
場所　　測定者</td><td colspan="3">測定
日時　年　月　日　時　分から
時　分まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">熱量計
番　号</td><td colspan="2">ガスメーター
番　　号</td><td colspan="2">流水温度計　入口
番　　号　出口</td></tr>
<tr><td colspan="3">ガスメーター中の
試料ガスの温度　t_g＝　　度</td><td colspan="3">t_gにおける水蒸気の飽和圧力
S＝　　キロパスカル</td></tr>
<tr><td colspan="3">室　温　t_r＝　　度</td><td colspan="3">燃焼廃気の温度　　度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">気
圧</td><td colspan="2">気圧計
の読み　B＝　キロパスカル
（　　度）</td><td rowspan="2">ガスメーターの圧力</td><td colspan="2">圧力　　ミリメートル</td></tr>
<tr><td colspan="2">補正値　a＝　キロパスカル</td><td colspan="2">キロパスカルに換算した圧力　P_1＝　キロパスカル</td></tr>
<tr><td colspan="2">零度に換算した圧力
B_0＝B－a＝　キロパスカル</td><td rowspan="3">補正係数</td><td colspan="2" rowspan="3">f＝
（f＝f_1×f_2
f_1　は熱量計の補正係数
f_2　はガスメーターの補正係数）</td></tr>
<tr><td colspan="3">1回の測定に要した
試料ガス量V＝　　リットル</td></tr>
<tr><td colspan="3">熱量換算係数
$F_1=\frac{273.15}{101.32}\times\frac{1}{T}\times P\times f$＝</td></tr>
</table>

乾燥ガスの絶対圧力
$P=B_0+P_1-S$
＝

ガスの絶対温度
$T=t_g+273.15$
＝

	流水温度 I 入口	I 出口	II 入口	II 出口	III 入口	III 出口
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						

	9					
	10					
平均温度						
器差補正						
露出部示度補正						
補正温度						
流水温度差 td		度		度		度
測定した水の重量 W		グラム		グラム		グラム
測定熱量 $H=\frac{F_2\times W\times td}{V}$						
	平均値		キロジュール／立方メートル			
標準状態に換算した乾燥ガス１立方メートルの熱量 総発熱量 $Hg=\frac{H}{F_1\times 1000}=$			メガジュール／立方メートル			

備考　F_2は、換算係数で4.18605を用いること。